作成日

令和7年8月28日

議員名

肥後 孝俊

事業№ 当No. 209、実No. 82

※ 当N₀.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実N₀.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号

事業名 介護人材確保・定着対策事業

担当課 健康医療対策課

所管委員会 福祉環境委員会

■議員評価(各評価上段に○)

事業内容	廃止	要引	要改善		現行どおり	
の評価	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に	改善や見直しが必要)	(事業の内容や手法はおおむね現行どま		
予算規模	廃止	縮小	現状維持	拡充		
の評価	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)		

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

補助制度の周知強化により相談件数は増加傾向にあるが、実績は目標を下回っている。R5年度は支度金補助3件の実績で、R6年度も2件と低調である。ただし、R7年度に向けて複数の事業所から活用予定の相談が寄せられており、潜在的なニーズは確認できる。ニーズの掘り起こしとボトルネックを解消する手段を構築し、人材確保と定着に結びつけたい。

(予算規模について)

【潜在需要の存在】 R7年度に向けて複数の事業所から活用相談があり、ニーズは確実に存在する。

【圏域課題への対応】 介護人材不足は浜田市だけでなく圏域全体の課題であり、広域連携を含めた抜本的対策が必要。

【新規事業の必要性】介護研修の受講料助成など、新たな支援メニューの追加検討が明記されている。

■改善・提案内容

① 事業所負担の軽減策

補助率を現行の50%から80%へ引き上げ、事業所の初期負担を大幅軽減。 小規模事業所向けに100%補助枠を新設(年間2件程度) 申請手続きの簡素化と、補助金の概算払い制度導入。 DX化の支援策新設。

② 人材への直接支援制度創設

介護職員個人への資格取得支援金制度(上限10万円/人) 市内事業所への就職を条件とした奨学金返済支援制度。 UIターン者向け家賃補助制度(月額2万円×2年間)

③ 高校生・中学生への早期アプローチ 夏休み介護体験プログラムの実施(参加者へ図書カード支給など)

 作成日
 令和7年
 月

 議員名
 村木 勝也

事業No.	当No. 209、実No. 82		上 上度当初予算説明資料番号 上度主要施策等実績報告書番号
事業名	介護人材確保・定着対策	事業	
担当課	健康医療対策課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価(各評価上段に○)

事業内容	廃止	要引	要改善		現行どおり	
の評価	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要) (事		おおむね現行どおり)	
予算規模	廃止	縮小	現状維持	拡充		
の評価	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)		

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

事業者へのヒアリングから、現場ではICT導入や介護ロボット、見守りマット等の活用による業務効率化・負担軽減への強いニーズがあり、令和8年度に期待します。

(予算規模について)

介護職の定着には処遇改善が不可欠であり、市の事業としてより直接的な支援ができないか検討すべきである。また、資格取得支援、奨学金返済支援、家賃補助、研修受講補助など、長期的定着につながる施策が必要であると考えます。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

今後の課題解決にとても大切な事業であるため、市単費と考えます。

作成日 議員名 令和7年9月19日 大谷 学

事業No.	209			
事業名	介護人材確何	保・定着対策	事業	
担当課	健康医療対策	課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価(各評価上段に○)

事業内容		廃止	要引	女善	現行と	どおり
	の評価 (区分の説明) (事業を廃止もしく)		(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)	
	予算規模	廃止	縮小	現状維持	拡充	
	の評価	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)	

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

仕事内容に対し給与面での対価が見合っていないところが介護人材が確保しにくい根本的な要因と理解しているが、対策を講じておく必要はあるので現状どおりとする。

(予算規模について) 状況から執行率が低いからと言って縮減するわけにも行かないので現状維持とする。

■改善・提案内容

労務環境の改善につながる機材の購入補助などの支援策も検討されたい。

作成日 議員名 令和7年 9月 19日 沖田真治

当No. 209、実No. 82

※ 当N₀○は令和6年度当初予算説明資料番号 実N₀○は令和6年度主要施策等実績報告書番号

事業名 介護人材確保・定着対策事業

担当課 健康医療対策課 所管委員会 福祉環境委員会

■議員評価(各評価上段に○)

事業内容 の評価 (区分の説明)		廃止	要改善		現行どおり	
		(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に	改善や見直しが必要)	(事業の内容や手法はおおむね現行どお	
	章規模	廃止	縮小	現状維持	拡充	
	評価	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)	

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

事業No.

介護人材確保のための求人支援や定着支援など多岐にわたる支援を行っている。 現在、浜田市における介護人材不足は深刻化しており、本事業の必要性は高い状況にあるが、低調な執行率の理由に介護事業者が求める支援と事業内に乖離があることが大きな理由であることから求められている支援内容を事業に盛り込む必要がある。

(予算規模について) 支援内容の充実を行うために必要であれば拡充。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

事業所からの設備の拡充、外国人労働者の受け入れに関する内容の助成については、国、県の事業において使える制度は有効に活用したうえで事業者が積極的に活用できる制度構築を検討すべき。財源については期間を決めたうえでふるさと寄付を充当。

作成日 議員名 令和7年9月19日 村武 まゆみ

 事業No.
 当No. 209、実No. 82
 ※ 当No. Oは令和6年度当初予算説明資料番号 実No. 0は令和6年度主要施策等実績報告書番号

 事業名
 介護人材確保・定着対策事業

 担当課
 健康医療対策課
 所管委員会

■議員評価(各評価上段に○)

事業内容	廃止	要引	要改善		現行どおり	
の評価	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に	改善や見直しが必要)	(事業の内容や手法はおおむね現行どお		
予算規模	廃止	縮小	現状維持	並 充		
の評価	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)		

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

現状の事業では効果が限定的であり限界なのではないか。現場のニーズとの乖離がある。介護人材不足に対しての事業だが、そもそもの介護を目指す人材が不足している。

(予算規模について)介護人材確保・定着することを目的とするためには、拡充する必要があると考える。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

介護人材を増やすための研修を浜田市において増やしていく必要がある。例えば、リハビリテーションカレッジ島根の協力が得られれば良いのでは。介護人材が増えるために本当に必要な内容にする必要がある。

作成日 議員名

令和7年 月 日 川上 幾雄

当No. 209、実No. 82 事業No.

※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実№.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号

|介護人材確保・定着対策事業 事業名

担当課 健康医療対策課 所管委員会 福祉環境委員会

■議員評価(各評価上段に○)

事業内容	廃止	要引	要改善		現行どおり	
の評価	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要) (事業の内容や手法は		おおむね現行どおり)		
予算規模	廃止	縮小	現状維持	拡充		
の評価	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)		

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

事業の目的は、必要とされる介護が確実に行えるよう人材を確保し、その人材 が定着することにあるようだ。説明されたように地域内における人材の高齢化と 不足は明らかであり、外国人を求める声も聞こえる。しかし、人材不足の前に単 位単価の低さに人材が集まらないことも事実でしょう。人材確保支援金も必要で すが、浜田市独自の制度として、加算手当(移動等)の上乗せを検討するなどが 望まれる。

(予算規模について)

__ __ __

		改善•	提案	勺谷		
>	*	予算規模(の評価を	「拡充」	とした場合は、	財源措置の考えについても記入してください。
ı						

 作成日
 令和7年
 月
 日

 議員名
 柳楽
 真智子

事業No.	当No. 209、実No. 82	※ 当N₀○は令和6年度当初予算説明資料番号 実N₀○は令和6年度主要施策等実績報告書番号
事業名	介護人材確保・定着対策	事業

担当課 健康医療対策課 所管委員会 福祉環境委員会

■議員評価(各評価上段に○)

事業内容	廃止	要引	要改善		現行どおり	
の評価	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に	改善や見直しが必要)	(事業の内容や手法はおおむね現行どおり		
予算規模	廃止	縮小	現状維持	拡充		
の評価	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)		

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

周知による効果が見え始めているようなので、更なる周知と新たな周知先の検討も必要である。

(予算規模について)

事業者の実情に合った効果的な補助が必要。

■改善・提案内容

周知を強化したことで活用についての相談が増えているとのことなので、更なる 周知が必要である。学校での介護分野の周知活動も行われているようであるが、 養護学校の生徒を含む障がいのある人を介護人材に育てることも、人材確保につ ながると考えることから、周知を含め検討が必要。

求人活動をしっかりと行うためには様々な手段を活用する必要があると考えることから、効果的な求人活動に必要な経費について現状を把握して拡充を行う必要があると考える。また、そもそも介護人材が不足していることから雇用したくてもできない状況がある。浜田地区広域行政組合の人材育成の取組ともしっかりと連携しながら進めてほしい。

作成日 議員名 令和7年 9月 19日 串﨑 利行

事業No. 当No. 209、実No. 82 ※ 当No. は令和6年度当初予算説明資料番号 実No. 209、実No. 82 ※ 当No. ○は令和6年度主要施策等実績報告書番号 事業名 介護人材確保・定着対策事業 担当課 健康医療対策課 所管委員会 福祉環境委員会

■議員評価(各評価上段に○)

事業内容	廃止	要引	要改善		現行どおり	
の評価	(事業を廃止もしくは凍結)	もしくは凍結) (事業の内容や手法に改善や見直しが必要) (事業の内容や手法はおお		おおむね現行どおり)		
予算規模	廃止	縮小	現状維持	拡充		
の評価	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)		

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

介護人材確保、解決に至っていないため。要改善する必要がある。

(予算規模について)

介護人材確保支援金・研修経費補助金は、増額するべき。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

人材不足を補う為には、ICT導入・介護ロボットの活用・外国人の登用・介護 退職者の扱い・元気な高齢者の雇用・養護学校の生徒や障がいを持つ方々など 調査研究が必要。(ふるさと寄附)

作成日

令和7年9月19日

議員名

小川 稔宏

 事業No.
 当No. 209、実No. 82
 ※ 当No. ○は令和6年度当初予算説明資料番号 実施。○は令和6年度主要施策等実績報告書番号

 事業名
 介護人材確保・定着対策事業
 所管委員会
 福祉環境委員会

■議員評価(各評価上段に○)

	事業内容	廃止	要改善		現行どおり	
の評価 (区分の説明) (事業を廃止もしくは凍結) (事業の内容や手法に改善や見直しか		改善や見直しが必要)	(事業の内容や手法は	おおむね現行どおり)		
	予算規模	廃止	縮小	現状維持	拡充	
	の評価	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)	

■評価判定に至った理由

(事業内容について)一定の効果は認めるものの、介護人材不足の原因を明確化 したうえで課題解決を図る必要性を感じる。

(予算規模について)当面は現状を維持しつつ事業内容については見直す必要がある。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

介護報酬の早急の見直し国に求めるべきである。特に訪問介護の改定は中山間地を抱える浜田では深刻な状況にある。広域行政組合で介護人材育成を担い、人材確保は市が行うという役割分担の見直しも検討されるようなので推移を見守りたい。

作成日

令和7年 8月28日

議員名

上野 茂

	事業No.	当No. 209、実No. 82	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号
	事業名	介護人材確保・定着対策	事業
ĺ	担当課	健康医療対策課	所管委員会 福祉環境委員会

■議員評価(各評価上段に○)

	事業内容	廃止	要改善		現行どおり	
の評価 (医分の説明) (事業を廃止		(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に	改善や見直しが必要)	(事業の内容や手法は	おおむね現行どおり)
	予算規模	廃止	縮小	現状維持	拡充	
	の評価	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)	

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

職員の高齢化や離職者も多く、訪問介護なども限界を迎えている。このままいくと事業者や利用者への影響は大きい。

(予算規模について) 実態の正確な把握をして予算の拡充も考えるべき。

■改善・提案内容

都市部とは違う在宅支援など物価高騰の中、大変厳しい状況にある。実態の把握を行い改善策を考えるべき。

作成日 議員名 令和7年9月19日

布施 賢司

当No. 209、実No. 82 事業No.

※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号

事業名 |介護人材確保・定着対策事業

担当課 健康医療対策課 所管委員会 福祉環境委員会

■議員評価(各評価上段に○)

事業内容	廃止	要改善		現行どおり	
の評価	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に	改善や見直しが必要)	(事業の内容や手法はおおむね現行どお	
予算規模	廃止	縮小	現状維持	拡充	
の評価	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)	

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

- 1 担い手の育成:人材育成の需要性は認識し合同研修を西部で開催している。 ステップアップ研修制度による技術者育成への期待がかかる。
- 2 介護助手:応援隊として非専門人(無資格者)を活用する取組が有効である と認識されているが、取組には数課題がある。
- 3 ICT活用:行政、医療機関や福祉施設間での活用レベルにバラツキがある。

(予算規模について)

現場サイドとのきめ細やかな支援が必要であるため、予算は拡充されるべきだ。 最終的には人材確保は報酬基盤の底上げである。

■改善・提案内容

- 1:人材育成のためには、西部で開催する合同研修会を増やすべきだ。 (入門者は家族介護の人や転職者が中心であるが、外国人の受講者の確保を)
- 2:介護助手は専門人(資格者)の仕事量が軽減さるるため、現場サイドは 有効性があるが、現場対応できる支援体制の整備が必要。

(訪問介護では資格者が必修などがハードル)

3: ICT活用については、医療情報を共有でき、在宅ケアの向上と事務効率化に 寄与しているため、教育や支援体制の充実を求める。

作成日

令和7年9月19日

議員名

岡本 正友

事業No. 当No. 209、実No. 82 ※ 当No. ○ は令和6年度当初予算説明資料番号 実No. ○ は令和6年度主要施策等実績報告書番号 事業名 介護人材確保・定着対策事業 担当課 健康医療対策課 所管委員会 福祉環境委員会

■議員評価(各評価上段に○)

	事業内容	廃止	要改善		現行どおり	
の評価 (区分の説明) (事業を廃止もしくは凍結) (事業の内容や手法に改善や見直しが		改善や見直しが必要)	(事業の内容や手法は	おおむね現行どおり)		
	予算規模	廃止	縮小	現状維持	拡充	
	の評価	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)	

■評価判定に至った理由

(事業内容について)-周知不足により利用件数が少なく、支度金・求人活動ともに予算執行が低調。しかし、介護人材の確保は市内施設にとって共通課題であり、廃止でなく改善が必要。事業所からは「入社後研修や資格取得支援」「外国人介護人材の活用」など多様なニーズも聞かれており、制度の受難な見直しが求められる。

(予算規模について) -執行率は低いが補助事業の存在が一定の相談窓口として機能しており、将来に向けた改善の余地がある。他の自治体でも介護人材確保に向けて支援を行っており、単純に予算削減すべきでない。

■改善・提案内容

- ※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。
- 1 周知方法の強化ーホームページに記載に加え説明会や事業所訪問
- 2 補助内容の見直し-支度金だけでなく資格取得や研修受講支援を検討、外国 人介護人材を対象としたサポート制度
- 3 他市への事例調査

作成日 議員名 令和7年9月21日芦谷英夫

 事業No.
 当No. 209、実No. 82
 ※ 当No. ○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No. ○は令和6年度主要施策等実績報告書番号

 事業名
 介護人材確保・定着対策事業

 担当課
 健康医療対策課
 所管委員会

福祉環境委員会

■議員評価(各評価上段に○)

事業内容	廃止	要改善		現行どおり	
の評価	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に	改善や見直しが必要)	(事業の内容や手法はおおむね現行どお	
予算規模	廃止	縮小	現状維持	拡充	
の評価	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)	

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

予算規模も小さく、事業実績も上がっていない、介護人材不足の現状から抜本的な制度設計が必要。

(予算規模について)各施設、事業所の人員不足を調査し、不足数の3割程度は 予算化すべき。

■改善・提案内容

*	予算規模の評価を	「拡充」	とした場合は	財源措置の考えについ	ても記入してください

一般財源を充当する。

議員名

作成日 令和7年 9月 19 日 永見 利久

当No. 209、実No. 82 事業No.

※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号

介護人材確保・定着対策事業 事業名

担当課 健康医療対策課 所管委員会 福祉環境委員会

■議員評価(各評価上段に○)

	事業内容	廃止	要引	女善	現行どおり	
の評価 (区分の説明) (事業を廃		(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に	改善や見直しが必要)	(事業の内容や手法はおおむね現行どおり	
	予算規模	廃止	縮小	現状維持	拡充	
	の評価	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)	

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

執行率は低調であるが、事業の必要性は高く継続する事業である。

(予算規模について)

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。 介護事業所からの要望と事業内容に乖離がある。見直しの検討が必要。

議員名

作成日 令和7年 月 日 佐々木 豊治

当No. 209、実No. 82 事業No.

※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号

介護人材確保・定着対策事業 事業名

担当課 健康医療対策課 所管委員会 福祉環境委員会

■議員評価(各評価上段に○)

-	事業内容	廃止	要改善		現行どおり	
	の評価	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に	改善や見直しが必要)	(事業の内容や手法はおおむね現行どま	
	予算規模	廃止	縮小	現状維持	拡充	
	の評価	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)	

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

事業者が利用できる制度設計が必要。

(予算規模について) 拡充すべき。

■改善・提案内容

* *	予算規模の評価を	「拡允」	とした場合は、	財源措置の考えについ	ても記入し	てくたさい。
------------	-----------------	------	---------	------------	-------	--------

作成日 議員名

令和7年月日田畑敬二

 事業No.
 当No. 209、実No. 82
 ※ 当No. Oは令和6年度当初予算説明資料番号 実施のは令和6年度主要施策等実績報告書番号

 事業名
 介護人材確保・定着対策事業

 担当課
 健康医療対策課
 所管委員会
 福祉環境委員会

■議員評価(各評価上段に○)

事業内容	廃止	要改善		現行どおり	
の評価 (区分の説明) (事業を廃止もしくは凍結) (事業の内容や手法に改善や見直し		改善や見直しが必要)	(事業の内容や手法は	おおむね現行どおり)	
予算規模	廃止	縮小	現状維持	拡充	
の評価	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)	

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

介護人材確保に対する支度金・求人活動費であり予算編成時に十分に検討すべき。

(予算規模について)

■改盖• 提案内容

		以古	THE THE			
	*	予算規模	の評価を	「拡充」	とした場合は、	財源措置の考えについても記入してください。
ı						

作成日令和7年議員名西田

 7年
 月
 日

 西田
 清久

■議員評価(各評価上段に○)

事業内容		廃止	要改善		現行どおり	
	の評価	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要) (事業の内容や手法はおおむね現)		おおむね現行どおり)	
	予算規模	廃止	縮小	現状維持	拡充	
	の評価	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)	

■評価判定に至った理由

内容については、	介護人材の	高齢化や限	られた人数の中	中で、国、	県の事業も活用
しながら引き続き	を頑張って事	業を継続し	ていただきたレ	\ o	

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

介護人材を増やす対策としてふるさと応援基金なども活用していただきたい。

作成日

令和7年9月19日

議員名

川神 裕司

THI	事業No.	当No. 209、実No. 82	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号		
昌	事業名	介護人材確保・定着対策事業			
担	旦当課	健康医療対策課	所管委員会	福祉環境委員会	

■議員評価(各評価上段に○)

事業内容	廃止	要改善		現行どおり	
の評価 (区分の説明)	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)	
予算規模	廃止	縮小	現状維持	拡充	
の評価	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)	

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

本事業は人材確保に要する経費の補助であるが、主要施策である「地域包括ケアシステムの構築を推進するためにも、そのベースを作る重要な施策と認識している。内容に関しては、人材確保に要する支度金や求人活動の補助、人材研修に要する経費の補助である。しかしながら、人材確保・定着事業としては、老人福祉施設協議会部会からの意見から言えるが、十分なメニューとは言えず、さらなる支援メニューや現メニューの充実が不可欠と感じる。

(予算規模について)

上記で述べたようにメニューの拡充のためには、現在の予算では十分な支援ができないのではないか。現在のメニュー以外にも現場の関係者としっかり意見交換を行い増額に向けた協議が必要。

■改善・提案内容

各法人人事担当者が人材確保のために全国各地へ出向き積極的なアプローチを 行っている。まずは現在の人材求人活動(移動費・宿泊費等)の増額は不可欠であ る。また人材確保のための情報収集、情報交換ための経費も十分考慮する必要が あるのではないか。また人材定着のための各種研修受講のための受講料の補助も 必要ではないか。

作成日 議員名

令和7年9月22日

昭

牛尾

事業No. 当No. 209、実No. 82 ※ 当No. ○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号
事業名 介護人材確保・定着対策事業
担当課 健康医療対策課 所管委員会 福祉環境委員会

■議員評価(各評価上段に○)

事業内容		廃止	要改善		現行どおり	
	の評価	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)	
	予算規模	廃止	縮小	現状維持	拡充	
	の評価	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)	

■評価判定に至った理由

人材確保は、	喫緊の課題である。

■改善・提案内容

— / i		
インセンティブが必要である。		